

公立高校入試予想最低点一覧

(3/5 18:00現在の分析結果です。)

この一覧は、各高校の倍率と、事務局が予想した入試の難易度に基づき、各高校の合格最低点（理論上合格の可能性のある最低の値）をランクごとに予想したものです。

高校名	倍率	重視比率		予想最低点	
		学力重視	内申重視		
〇〇高校 ××科	1.30	当:内 8:2	内:当 6:4	A	253
				B	271
				C	276
				D	281

(この図は説明用の見本で、値はダミーです。)

- 1月道コン受験生約15,500人の分布を元にシミュレーションしています。
- 難易度は、事務局が収集した約2800人の自己採点結果に基づき、以下の通り仮定しています。
 - 【裁量問題】道コンSS50=155点
 - 【標準問題】道コンSS50=170点

以上の仮定に基づいていることを踏まえ、目安としてご利用ください。

実際の合否には、調査書等の要因も関係するため、ここで示した点数でも不合格となる場合もあります。

● 「重視比率」について

公立高入試では、内申点と学力点（当日の得点）を同等に評価して定員の70%、学力点重視と当日点重視で各15%をそれぞれ選抜します。重視の比率は高校ごとに定められています。

上の見本の例では、

- ・学力点重視…当日点：内申点＝8：2の割合
- ・内申点重視…内申点：当日点＝6：4の割合

この最低点一覧は、これらの重視比率を考慮した上で算出しています。

- 各ランクの中間の学習点で計算しています。同じランクでも、学習点が低い場合はより高い点数が必要になります。
- 倍率は道教委発表による最終出願状況時点のものです。最低点の算出にあたってはこの倍率を前提としていますが、一部の高校については、事務局調査による欠席者人数、第2志望にまわると推定される人数を考慮しています。倍率1.0倍以下の高校については、不合格者が出ると仮定した場合の得点を掲載しています。
- 道コンデータ数の少ない高校は省略しています。

北海道学力コンクール事務局
株式会社 進学舎
TEL 011-621-2230
FAX 011-621-2550